

令和7年度 明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会の活動方針（案）について

令和7年度は、明知鉄道沿線地域公共交通計画に基づく取組みが7年目となります。本計画の目標達成に向けた事業は、令和6年度の実施状況の評価から得た課題と対応を踏まえて、引き続き明知鉄道を基軸とした公共交通ネットワークを構築していきます。

1. 取組み方針

住民や利用者への周知は、継続することが重要であるとし、引き続きバス乗り方教室やイベントなどを通じてモビリティマネジメント事業の取組みを積極的に行う。

また、交通コンシェルジュからの報告や移動可視化データを活用して、鉄道・バス・タクシーなど複数の交通モードによって公共交通網を一体的に構築し、実情に合った持続可能な公共交通ネットワークを目指します。

2. 重点的に取り組む事業

目標1：公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進

- ・公共交通シンポジウムの開催
- ・乗り方教室（地域・学校・イベント）の開催
- ・公共交通を活用したスタンプラリーの開催
- ・高校生向けの公共交通利用促進PR活動
- ・えなワンコインパスポートの周知の強化及び拡充

目標2：持続可能な地域公共交通ネットワークの形成

- ・移動可視化データによる、一体的な交通ネットワークの再編（バス・鉄道・シェアサイクル）
- ・上矢作線、明智地域路線の再編及び効果検証の強化
- ・高校生の通学支援（明知鉄道通学補助）
- ・共通乗車券の検討（JR、明知鉄道、バス、タクシー）

目標3：域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備

- ・恵那市交通コンシェルジュの周知強化
キャッシュレス化の利用促進・・・デジタル回数券・定期券、PayPay
公共交通を利用したえな小旅のコースの増設
- ・各施設と連携した利用促進（周知、スタンプラリー、お得利用策）
- ・自動運転の導入推進に向けた実証実験の実施

3. 目標達成のための事業内容 取り組み事業の一覧

目標	施策	事業
【目標1】 公共交通を「支える」 「活用する」地域住民の活動促進	1. 公共交通を「活用」する市民の意識づくり	1. 観光列車やイベントでの市民による活動 2. 地域イベントと連携した公共交通の活用 3. S Lの復元を通じた地域づくり 4. 待ち時間を有効活用できる結節点
	2. 公共交通を「支える」市民の活動促進	1. 明知鉄道が有するさまざまな価値の発信 2. 沿線環境の整備 3. 収入源の拡大 4. モビリティマネジメントの推進 ・公共交通シンポジウムの開催 ・乗り方教室の開催 ・高校生向けの公共交通利用促進 PR 活動 ・えーなワンコインパスポートの拡充（市内商店と連携） ・公共交通を活用したスタンプラリーの開催
【目標2】 持続可能な地域公共交通ネットワークの形成	1. 地域全体の総合的な公共交通ネットワークの形成	1. 恵那駅周辺での循環線の新設 ・シェアサイクルステーション検討 2. バス路線の見直し ・移動可視化データを活用した一体的な交通ネットワークの再編 ・高校生の通学支援（明知鉄道通学補助） 3. 明知鉄道の1時間1本化
	2. 快適な公共交通利用環境の整備	1. 施設の更新 2. P & R、サイクルトレインの推進 3. 鉄道・バス共通1日乗車券の販売 ・事業者間調整、販売
	3. 関係者との連携強化	1. 恵那峡線・大井町東線・大井町西線・明智線の改善と利用促進 2. 隣接自治体との関係強化・組織間ネットワークの充実
【目標3】 域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備	1. 当地域に適したMa a Sの実現	1. 運賃のキャッシュレス化 ・デジタル回数券・定期券、PayPay の利用促進 2. 人とアプリによる「交通コンシェルジュ」 3. 日帰り旅コースの設置・運用 ・公共交通を利用した旅コースの増設 4. 定額制乗り放題運賃・年間パスポート 5. モードを跨いだ運賃設定 ・運賃部会での検討 6. 移動データの取得
	2. 新たな技術を活用した付加価値の向上】	1. 自動運転の導入推進 実証実験の実施 2. EV車両の導入推進
	3. バリアフリー化を通じたサービスアップ（現状維持から発展へ）	1. 駅舎などのバリアフリー化 2. ボランティア車掌の創設 3. 外国語案内・バス系統番号の表示
	4. 観光列車の推進	1. 観光列車と広報・周知の充実 2. 観光列車やイベントでの市民による活動